

新宮山彦ぐるーぷ第2136回

行仙宿の水場整備

◇実施日… 2021年6月30日(水) 曇り後小雨

◇参加者；梶野照雄、山川治雄 2名

先日、奥駈行(順峰)で行仙宿に宿泊された広島の椎木さんから「行仙宿の水場に大量の腐った木屑が溜まって水が汲めない状態になってた。素手で少し取り除いて、水が汲めるようにはしたが、上部にまだ多くの木屑が残っている。」との報告があった。ここ数日、雨が続けているので残っている木屑が落ちて、再び水が汲めない状態になっていると思われるので、急いで木屑の除去に向かった。



モノレールで登る



水場に向かう



木屑で埋まる

午前9時半に登山口を出て10時に行仙宿に着く。ジョレンと熊手を持って水場に降りる。足元の濡れた岩や木の根は滑りやすく、慎重に下って15分で水場に到着。椎木さんの報告通り、水溜は木屑で埋まっていて、上部にも大小の木屑が見える。



水場上部から

下の棚を見る

脚立を持って降りる

水場の一つ手前の沢から登り、水場の上部に回り込んだ。水場の上部は2段の棚になっていて、上の棚迄ロープを伸ばして慎重に降りた。棚は狭いが足元はほぼ平らで、立って作業することに問題はなかった。下の棚迄は2m弱だが、滑りそうな丸い岩で、降りるのは困難だった。上の棚にあった木屑を下棚に落として降り返す。この位置より10mほど上に谷を渡っている古い倒木が2本あり、この一部が腐って落ちたと思われた。下の方の棚に溜まった木屑を除去するために梯子を取りに小屋に戻る。倉庫から脚立を出して再び水場に降りた。

持ってきた長靴に履き替えて脚立を立てる。水場の奥が狭いため、立てる位置を変えて、動かないようにロープで固定した。



長靴に履き替え



脚立を立てる



下の棚の木屑



水場を上から

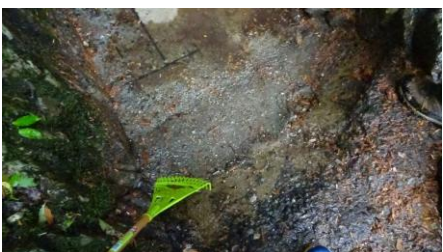


細かいものは取り切れず



木屑の除去

登ってみると下の棚もほぼ平らで、足元は安定している。木屑を下に落として動かせる石も除去した。下からも見えている大きな石は、挟まっているようでビクともしなかった。細かい木屑は取り切れず、今後の雨で流れ落ちることを期待してそのままにした。
水場に降りて脚立を外し、溜まった木屑を除去する。水流は少なく、水溜を空にするのに時間はかからなかった。約40分で作業を終え小屋に戻る。小屋でゆっくりと昼食を摂り、午後1時半前に下山した。



除去完了



本日の参加者



登山口で
(記：梶野)

行動タイム

登山口 09:30 → 10:00 行仙宿 10:06 → 10:22 水場 10:48 → 11:09 行仙宿 → 11:27 水場 12:11 → 12:32 行仙宿 13:26 → 13:48 登山口